

2022年6月23日

## 2022年度正課外活動講習会開催報告

スポーツ支援室 鈴木久雄・榎本翔太

スポーツ支援室では正課外活動の安全性を高めるため、2008年に熱中症予防対策マニュアル第1版を作成し、同年より毎年「熱中症予防講習会」を開催してきた。2020年、2021年はコロナ禍であり、オンラインによる講習会とした。この2年間、正課外活動は十分に活動できず、悔しい思いをしてきたクラブ・サークル学生が多かったと思われる。本年度は新入生への勧誘も開始され、マスク着用を含め活動制限はあるものの通常活動に移行した感がある。その結果、正課外活動に十分に順応できず熱中症等を発症し、十分な対応がとれずに救急搬送される事例がいくつか続いた。

そこで、スポーツ支援室では学生支援課、保健管理センターと共同で津島キャンパス学生用の「救急車を呼ぶタイミングと連絡・対応」と、鹿田キャンパス学生用の「事故が起きたときの連絡・対応」ちらしを作成し、緊急対応方法の再確認と注意喚起を促す講習会を開催した。本講習会は「2022年度正課外活動講習会」として正課外活動クラブ・サークルの幹部学生を対象に、6月15日(水)、16日(木)に4回、対面にて実施した。津島キャンパスでの講習会参加者は241名、鹿田キャンパスが31名の計272名が参加した。

毎年行っている正課外活動オンライン講習会「熱中症予防、新型コロナウイルス感染予防」受講者は6月13日現在、3,893名であった。そこで、今回の講習会参加者にはどの程度の知識や準備ができているか、たずねるところから講習会を始めた。正課外活動中の事故に対する責任者、安全配慮義務について再確認した後、「活動中の部員が救急搬送されたとき保護者に連絡する必要があるが、緊急連絡先一覧は作成されているか」をたずねた。緊急連絡先一覧を作成していると答えたクラブ・サークルは15団体程度と極めて少ない結果であった。その後、救急搬送のための判断、救急車あるいは大学病院救急EICUへの連絡、その後の対応等を説明し、安全配慮への準備と連絡・報告をお願いして終了した。

熱中症による全国救急搬送数は昨年度の5月と今年度の5月を比較すると、2.3倍に増加している。この異常な増加は人々が活動的になったもののこれまでの運動不足による体力低下に加え、暑熱順化が不十分であり、マスク着用もあり、厳しい環境下に置かれている。そして、今後さらに暑さも増すことから、救急搬送数が増える可能性がある。今回の講習会内容である緊急対応は安全安心な活動にとって極めて重要であり、正課外活動クラブ・サークルの学生だけの問題ではなく、所属していない学生、そして教職員もその知識修得と準備をする必要があると考える。

各キャンパス用ちらしは、右のRQコードから取得できる。活用していただければ幸いです。

※チラシ作成にあたっては、多くの教職員の協力を得て完成しました。深謝いたします。



2022年度正課外活動講習会風景



津島キャンパス用ちらし  
「救急車を呼ぶタイミングと連絡・対応」



鹿田キャンパス用ちらし  
「事故がおきたときの連絡・対応」